

鏡野町奥津を発信地としてOKUTSU 芸術祭を開催

OKUTSU 芸術祭実行委員会

活動の目的

2023年～24年に、鏡野町に隣接する鳥取県倉吉市に鳥取県立美術館が開設されることとなり、中国道院庄ICから倉吉に向かう国道179号線沿線を高速道では味わえない各駅停車的にアート等が楽しめる沿線に創造するとともに、主たる舞台とする鏡野町奥津温泉地区のみならず県北・美作国のエリア発展に寄与する。そのためには、地域における真の芸術風土の醸成とこれに関わるアーティストを含めた人材育成が必要であり、中長期目線でこれに取り組むとともに、県立美術館開設までに、美作国のアートレベル（意識・人材・産業・施設等）を倉吉市と対等水準に引き上げ、芸術愛好者や一般客が、倉吉への一方通行だけではなく、鳥取県側からも国道179号線を通して美作国に来てくれる双方向の流れを創出する。

活動の内容及び経過

地元（美作国）出身者で、大学の専門教育を受けた将来有望なアーティストによる滞在・公開制作を行なって本物志向の芸術世界を見せることにより、中高校生に将来の可能性と道を開き、本流の芸術家への道をより具体化できるよう注力した。

【内容・会場】

山の洗濯美術館（手ぬぐいアート：道の駅奥津温泉）、地獄図プロジェクト（宝樹寺）、インスタレーション・作品展（かがみの近代美術館、石庭遊園地、旧武本名産店、池田屋河鹿園、米屋倶楽部、奥津公民館、道の駅研修棟、観光協会）、公開制作（奥津公民館）、ワークショップ（道の駅研修棟）、イベント（和楽器ライブ・坐禅体験：宝樹寺、ディナーコンサート：Aelu・花美人の里、オープニングミニコンサート：観光協会）

活動の成果・効果

本事業で『アート』『R179』『倉吉、鳥取県立美術館』というキーワードをエリアに組入れ、再発展に向けた一つの方向性を示すことができた。特に住民には坐禅や和楽器コンサートへの参加を通じて取組への理解が芽生え、来年以降の後押しとなるものとする。また、若手芸術家ではあるが本物志向の作品を身近に感じてもらったことで、自己或いは子供たちに芸術等、好きな分野で確かな基礎を学びつつ生きる道を目指す人生モデルに触れていただくことができた。

さらに、訪れた方の評価・満足度を通じて“美作国の価値を高めること”が地域発展の基礎になり、5年先10年先を考えながら中長期的目線での取組むことの重要性を学ぶ



機会となった。

今後の課題と問題点

初年度は実行委員中心の運営として、積極的にボランティアを集めなかったことで、マンパワー不足に陥り苦慮した。結果として、お寺など急用による留守発生等により、“展示施設が閉まっている”（裏を返せば平日でも予想以上の来客）との苦情にも繋がることとなった。また、“芸術祭出品作品を常時見ることのできる施設を確保することが必要”との意見があった。

- 代表者：辻本高廣 ●所在地：苫田郡鏡野町奥津川西
- TEL：0868-52-0722
- E-MAIL：info@kagamino-museum.com
- 設立年：2018年 ●メンバー数：18名